



photo
by
fulico
karuizawa

momiji

ヤリ才便り

十一月号

— 2021 —

あ、略ソかおあ過いすかか？！今朝は枯葉木のし舞いさほちる翌日を
聞まひから大計にある目志八幡神社を散歩しよした。入るべきは
紅葉狩りに行けなかつた方も多かつたのではなからうか。……
好ましくんで引きこもつた誤ではないのですが外食を楽しんだり
出かけたリリーバイ生活に慣れて勤めなくともまきわくはるのうのは、
何とももったいない。の事のとあつた朝ごりに。秋日は向も
行く初冬を迎えます。北国音うちとては、これから吹く木枯れと共に
あるような間に激変する景色を前に冬への覚悟のようはあつたに
スイッチの入りるのです。変化する美しい四季の移ろいも自然心や
生活から感じ取れる豊かさのことに感謝するがごとく。
仕事とはソ元年中講演や研究で走りまわつて来て
そんな当たり列の行動が出来なかつた日々何を
考え何を見つめ何をて来てたのか、少し振り返そ
めよした。私の仕事もズームヤリモートなどにシフト
されへるは普通道に使うようになりました。はじめは慣れ
なくて大変でしたが、オンラインの事は好きな性向
で今では世界の広がり面白さ、楽しさが増してきます。
興味のあつた事は誰でもどこからでもアクセス出来
むろろ不自由さは無くもなるものと実感してきます。
「人生にはゆらぎが意味がある」「人生は
あなたに絶望してソバ」「フランクルの
言葉は何も幸せでありかちをたえさせ
られどう生きようかの価値観のりせと
されたと感じてきます。今月もこのこ
とからだ、も元氣にソご自愛下さい。
感謝を込めて。
敬目ス

ヴィクトール・エミール・フランクル

1905～1997年。オーストリア・ウィーン生まれ。ウィ
ーン大学在学中よりフロイトに師事し、精神医学を
学ぶ。第二次世界大戦中、ナチスによりドイツの強制
収容所生活を体験。その体験を基に『意味への探求
(強制収容所におけるある心理学者の体験)』、日本語
訳『夜と霧』(みすず書房)を発表し、世界的ベスト
セラーとなる。他に『それでも人生にイエスと言う』
(春秋社)などの著書がある。

今月号 2021年 11月 25日

松本ナチ子 集

